白羽保育園だより

令和５年２月１５日
御前崎市立白羽保育園

２月も半ばを過ぎました。吹く風はまだ冷たいものの、なんとなく春の訪れが感じられます。
乳児部の子ども達、冷たい風が吹く日も元気よく登園し、「おはよう」と朝の挨拶をしてくれる子もいます。
お天気が良ければ少しくらい風は冷たくても外にはやっぱり行きたくて、上着を着て、帽子をかぶり、靴を履きます。年齢によって違いはありますが、前後ろは逆だけど帽子を一生懸命にかぶる手つき、右左は反対だけど靴に足をギュギュっと入れて立ち上がる姿などを見ていると、自分に必要なことをやろうとするのには、子どもの力ってすごいなと感心します。外では三輪車や車に乗って園庭ドライブをしたり、先生と追いかけっこをしたりして体をいっぱい動かして遊んでいます。
幼児部ではお年玉でもらったコマ回しが盛んです。
年少のＡ君。この前まで、コマは回してみたいけど、「うまく回らないからイヤ」と言っていました。年少児のコマは手回しゴマで両手で芯を挟んで回すので「いただきますみたいに手を合わせて～それ！」と手を添えてやってみました。ほんの少し回ったら「もう１回！」と言い、「やって！」と手を添えてほしいとせがみました。もう１度一緒に「それ！」とやると少しですが回ります。その日は、自分だけでは、うまくできそうにないと思ったのでしょう、そうしながら何回かやりました。
すると、今日はＡ君、「見て！」と言って、自分で勢いよく回せるようになったコマ回しを見せてくれました。「わぁ！すごい！Ａ君、自分で回せるようになったんだ！」と嬉しくなりました。もう私の手は必要ありません。「そうだよ！もうＡね、できるようになった！」と言いながら何回も何回も回して見せてくれました。
それぞれの学年でまわし方の違うコマですが、回せるようになるまで、何度も何度も挑戦しなければできません。
いろいろなことがそうですが、子どもは、大人や友達に手を添えて一緒にやってもらったり、教えてもらったり、また見せてもらったりなど、人との関わりを心の支えにしながら自分でできることを増やしていきます。
気持ちを支えてもらえる安心感や心地よさを感じ、深めながら、それぞれの学年の子ども達に合った『「やってみよう」という気持ち』や『粘り強く取り組む気持ち』が育ってほしいと思います。ひとつひとつの小さな自信を大きな自信へと繋げていきたいです。
年中さんが植えた寄せ植えの花が元気に育ち、花がいっぱいさいてきて春の訪れを知らせています。残り１カ月半を、毎日を楽しく大切に過ごし、今年度のよい締めくくりをしていきたいと思います。

８日（土）、幼児部の保護者の皆様には、参観会・教育講演会・親子環境整備活動にお忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございました。

・・・